



動作中でも安定した傾斜検出を実現 ダイナミック傾斜センサ「JBC」



振動・加速度の影響を補正

ifm efector株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 岩室 一志）は、振動・加速度による影響を受ける環境下でも安定した傾斜角を取得できるダイナミック傾斜センサ「JBC234（垂直取付け）」および「JBC334（水平取付け）」を2026年7月に発売いたします。製造設備や建設機械、AGVなどの分野では、安全性向上や自動化の高度化に伴い、正確な傾斜検出の重要性が高まっています。一方で、加減速や振動が伴う動的環境では、傾斜測定値が不安定になるケースがあり、取得したデータをそのまま制御に利用することが難しいという課題がありました。またIMU（慣性測定ユニット）を用いた場合にはセンサフュージョンやフィルタ設計などの専門的な調整が必要となり、導入や立ち上げに工数を要する点も課題となっています。ifmのダイナミック傾斜センサ「JBC」は、こうした課題に対し、「動的環境下でもそのまま制御に利用できる傾斜データの提供」をコンセプトとした傾斜センサです。“設定不要で使える傾斜データ”を提供するソリューションです。加速度センサとジャイロセンサを組み合わせたセンサフュージョンにより、外乱の影響を内部で補正し、動作中でも安定した傾斜値をリアルタイムで出力します。これにより、従来は必要だった調整やチューニングを省略でき、センサ設置後すぐに信頼できるデータを利用可能となり、立ち上げ工数の削減と運用の簡素化に貢献します。また、通常は傾斜値のみを使用しながら、必要に応じて加速度や回転速度といったIMUデータも取得できるため、トラブルシューティングやデータ活用にも柔軟に対応します。さらに、本製品は軽量かつコンパクトなプラスチック製筐体を採用しており、狭いスペースにも容易に設置可能です。小型ながらも高い耐振動性・耐衝撃性を備え、過酷な環境下においても安定した動作と高い耐久性を発揮します。こうした特長により、装置への組込みや設置作業の負担を軽減しつつ、動的環境でも信頼性の高い制御を実現します。本製品は、フォークリフトの姿勢監視、建設機械のアタッチメント制御、高所作業車のレベリングなど、動作中の角度情報が重要となるさまざまな用途において、安全性向上と作業効率の改善に貢献します。ifmは今後も、「現場でそのまま使えるセンサ」を通じて、設備の安全性向上と自動化の効率化を支援してまいります。

◆主な特長◆

- ・ 加速度＋ジャイロのセンサフュージョンにより外乱加速度を内部補正
- ・ 動的環境でも安定した傾斜値をリアルタイム出力
- ・ 設定不要で即使用可能、立ち上げ工数を削減
- ・ 必要に応じて加速度・回転速度などIMUデータ取得が可能
- ・ 高耐振動・耐衝撃設計で過酷な環境に対応
- ・ IO-Linkにより装置への統合を容易に実現

◆製品名・価格◆

- ・ 製品名：IO-Linkダイナミック傾斜センサ“ JBC234（垂直取付け） ”, “ JBC334（水平取付け） ”
- ・ 標準価格：49,000円（税別）
- ・ 販売目標：年間1,000個

* 本製品の詳細は、下記URLよりご覧いただけます（JBC234,JBC334）

https://bit.ly/JBC234_PL_202606

ifm efector株式会社：会社概要

弊社は1969年にドイツで誕生以来“ifm-Close to you”を企業理念とし、センサのスペシャリストとしてお客様に寄り添っています。今日では従業員8000名を超える大企業に成長し、幅広いセンサのラインナップに加え、IoTのカギとなるIO-Linkの先駆者としても世界的に広く認知されるメーカーとなり、多くのお客様にソリューションを提供させて頂いております。日本では、長い間エフエクター株式会社として活動しておりましたが、2016年にifm efector株式会社に社名変更し、より良い製品、サービスの提供に努めています。

〒105-7104 東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター4F Website:<https://www.ifm.com/jp>

本リリースに関するお問い合わせ先 / マーケティング部（曾田庸子：yoko.aida@ifm.com）

製品に関するお問い合わせ先 / 営業部：technical.jp@ifm.com